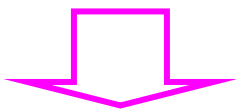


相馬病院看護部目標紹介

★★平成27年度看護部目標★★

1. かかりつけ病院として地域の皆様の期待に応える看護部
2. 部署目標・個人目標を実現させ、仕事・労働環境・働き甲斐の満足度を上げる。患者様・ご家族様・職員が満足できる病院
3. 部署環境を見直しして、患者様に優しい病院環境を目指す



看護部長担当月の看護部ブログで数回にわたりご紹介してきましたが、平成26年度、当院は日本看護協会の「看護職のWLB（ワーク・ライフ・バランス）推進ワークショップ」に参加してきました。看護職員全員からのインデックス調査（アンケート調査）を基にしてアクションプラン（対策）を立案し実施しています。このアクションプランの基本になるものは「かかりつけ病院として、地域住民の皆様や医療介護施設の方々の期待に応え、当院の魅力でもある、気軽に身近にいつでも対応してもらえ、そういった期待に応えることがかかりつけ病院としてご利用いただいている方々の満足を得ることになり、満足していただいていることを実感することで職員も働き甲斐を持てること」です。

最近医療業界でもCS（顧客満足）とES（職員満足）を考えていかなければならないといわれています。ESの高い職場では職員のモラルや能力も上がり、看護部の目指す心のこもった暖かいサービスにつながると期待されています。それが患者様サービスにもつながり、ひいてはCSの向上、よい医療施設という評判になるようです。

年間を通じて自己の成長をチェックし達成感を実感することにより仕事の満足度を上げていくため、今年度は「目標管理」を重視していきます。この目標は27年度のWLB推進のための活動目標でもあります。部署や個人の目標管理は実施していましたが、うまく機能していなかったため、ツールの変更やルールを再度決定して再スタートします。

執務態度や自己啓発の評価も加えて、将来的には賞与にも反映できるようになれば金銭的満足を実現するモチベーションにも繋がるのではないかと考えています。

昨年度、当院では耐震工事が終了し、安全により配慮ができる建物となりました。細かな修繕は現在も少しずつ実施しています。よく綺麗な病院ですねと評価をいただくことがありますが、築年数も古く新築病院には劣ってしまう所も多々あります。

そんな中で患者様やご家族様からのお話、あるいは職員による気づきで備品の変更や、小さな修繕で患者様に喜んでいただけ、患者様満足につながることに職員もやりがいを感じています。日常の業務をする中で、患者様視線に立つという事は言葉では簡単ですが、慣れ親しんだ職場ではなかなか難しいと思います。しかし患者様やご家族様との関わりの中に、問題意識を常に持つことで気づきを感じてほしいと願います。問題意識を持つとアンテナを張ることが可能になり、常時問題意識を持つことで、アンテナの感度・精度も上がると思います。

気づきにより大改修には至らなくても、少しの手直しや備品変更をすることで患者様により優しい病院にしたいと思います。

耐震工事で安全性強化、小さな修繕や備品の見直しでより安楽な病院に近づくため、職員からの気づきをすくい上げる仕組みを作りたいと思います。

★★平成27年度外来・手術室目標★★

『外来・手術室・訪問診療のチームの強化と連携』

今年度は、外来・手術室・訪問診療のチーム力の強化と連携を目標に専門性を生かした目標を設定し看護の質の向上を目指します。

外来は、継続看護、患者様指導を目標にしました。昨年度からの継続で『外来から始まる退院支援』カンファレンスを実施する計画や、脊椎手術後の自宅生活が安心して暮らせるようにパンフレットを使って生活指導を進めます。また、認定看護師・訪問看護師・多職種とも連携して、相談、支援、援助、説明、指導を中心に個別性のある看護の提供を心掛けたいと思います。

手術室は、当たり前ですが「患者様」「職員」の『安全第1』を目標にします。長時間手術や複数の高度な手術も多くあり、ミスやエラーを誘発しない環境を重視しています。個々のスキルアップと手術室看護の専門性である手術前・手術中・手術後を通して高度な判断、技術を習得し、昨年度同様に確認作業の徹底を怠ることのない勤務姿勢、日々安全意識を持ち続けることを継続し、患者様・職員の安全に繋がります。

訪問診療は、患者様・ご家族様が安心して在宅生活がおくれるよう支援させていただいております。年々利用していただく患者様が増えていきますので、管理書類も沢山あります。今年度は業務内容の整理をして、現状の見直しと改善をしてさらに一人でも多くの訪問患者様を受け入れできる体制にしたいと考えています。訪問診療が必要な患者様・ご家族様の期待に十分に答えられる部署にしたいと思います。

外来・手術室・訪問診療をチームに置き換え、チームリーダーを中心に個々のチームのスキルアップ・チームワークで全体のレベルアップを目標にして教育・指導し良質な看護の提供をさせていただきます。

★★平成27年度病棟目標★★

『入院時から退院後も安心して頂ける

良質な看護の提供』

かかりつけ病院としての病棟の役割は、安心して入院が出来、安心して生活の場に帰ることが出来る事だと考え大目標と達成目標を設定しました。入院時からいかに早期に退院後を見据えた関わりをどのようにしていくかが重要となります。一昨年度看護部に継続看護対策委員会が設立され、個々の在宅支援への意識は高まってきましたがまだまだ個別性を考慮した関わりが出来るには至っていないと感じます。初回カンファレンスを含めカンファレンス内容を充実させ、早期に患者様・ご家族様の思いに寄り添った在宅支援を行えるよう、現場での生活支援の視点を養っていく事が課題と感じています。

従来から目標としている『良質な看護の提供』は今年度も目標とし掲げます。看護部理念の根幹は『安全・安楽』です。安全に対する意識は年々さらに高まっていると感ずることが出来ます。しかし、昨年も同様のインシデントが発生した事から、部署の発生傾向に対する取り組み強化が引き続き必要と考え、決まった事・些細なことも、真面目に一生懸命徹底して取り組む事を今年も継続し、患者様の入院生活の安全を守る事が病棟看護師の役割の一つであると考えます。

3つ目の目標は、職場環境の改善です。ワーク・ライフ・バランス推進の取り組みとして職員のヒアリングから「ケアに費やす時間を増やしたい」との意見の救い上げが出来、昨年ミエログラフィー検査入院の煩雑さを改善する是正処置をとる事が出来ました。今年も更に働きやすい、やりがいのある職場環境、看護職員に選ばれる職場になるよう、どんな看護がしたいのか、なりたい自分が見えるよう個々の目標を明確化し、また、生活の場にもなる病床環境を見直し、過ごしやすい環境づくりを行っていく事で、かかりつけ病院としての役割を担い、職員のやりがいを実感できる職場にしていきます。

★★平成27年度透析室看護目標★★

『安心・安全な透析治療・看護の提供』

『かかりつけ病院として地域の皆さまの期待に応える看護部』としてまずは「スタッフ一人一人がスキルを磨き、生き生きと仕事ができる事」です。

安全な透析治療を受けて頂くために、定期的に勉強会を開催して、自己研鑽に励み、専門

知識と技術の向上を図って治療・看護を提供していきたいと考えています。そしてスタッフ間での、報告・連絡・相談を密に行い、生き生きと笑顔で患者様に接して信頼関係の構築を目指していきます。

「安全で安心できる事」血液の体外循環という非常に高リスクの治療を行っている透析では、少しの気の緩みで思わぬ事故を招きかねません。マニュアルの徹底や防災教育、感染対策、透析機器の操作と管理に取り組んでいき、日々安全が確保でき、安心へと繋がるように取り組んでいきたいと考えています。

そして「丁寧な言葉使いでコミュニケーションを大切にする」ことで、1日おきに治療に来られる患者様との間にも、節度を持ちながら何でも話しやすい雰囲気づくりを心がけていきます。

「透析治療を安楽に受けて頂けるようにさらに環境改善をする」。
昨年度はハード面で複数の環境改善をしてきましたが、ハード面だけでなく、日々のカンファレンスで個々の患者様の状況に応じて、検討し情報共有をおこなって、ソフト面でも痒いところに手が届くような看護の提供ができるよう努めていきます。

★☆☆平成27年度訪問看護ステーション目標☆☆★

『地域の一員として活躍できるステーションづくり』

～自ら発信できる看護師を目指して～

おかげさまで、訪問看護ステーションを開所して4年目を迎えることができました。この3年間はステーションの基礎を作るべく人材育成に力を入れ、取り組んできました。その甲斐あって、スタッフ一人ひとりが、自己の課題を持ちながら、専門分野に取り組み、積極的に動けるようになってきました。

今、地域包括ケアが推進されていることもあり、スタッフ自らが、この3年間で培ってきた力を発揮すべく、地域とのかかわりを重視し、地域のみなさまと一緒に自宅で過ごす喜びを感じながら療養できる場所を提供していきます。そしてこれからも、地域のみなさまに『安心と安全』をお届けできるよう、「地域と協働した活動ができる」「訪問看護師として看護力を高める」「地域活動への参加」の3項目を主要な目標にしました。